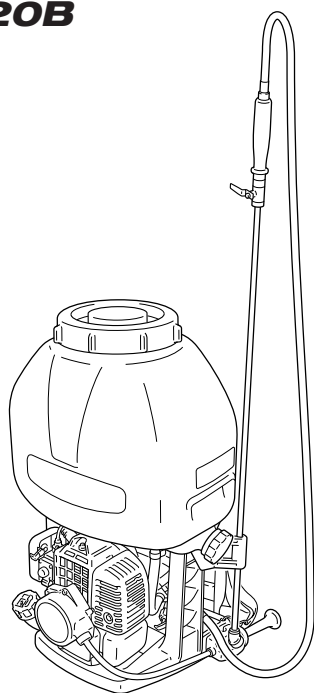


## 共立背負動力噴霧機 *i*スタート 背引式

### 取扱説明書

型 式  
**SHRE15B**  
**SHRE10B**  
**SHRE20B**



見出し	ページ
重要なお知らせ	2
▲安全にご使用いただくために	3 ~ 10
1. 梱包部品一覧	11
2. 各部の名称と機能	12
3. 作業前の準備	13 ~ 15
4. エンジンの運転	16 ~ 18
5. 噴霧作業	18
6. 点検・整備	19 ~ 23
7. 仕様	24
8. その他	25
索引	26



(社)日本陸用内燃機関協会  
小形汎用エンジン  
排出ガス自主規制適合証

#### 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。  
取扱説明書の指示内容を守ってください。  
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

# 重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

## 製品の使用目的

- ・この製品は2サイクルエンジン薬液噴霧機です。家庭用・農業用などの薬液噴霧に使用してください。目的以外に使用してはいけません。

## 製品の使用者について

- ・この製品は取扱説明書をよく読んで十分に熟知した人が使用してください。
- ・取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、16歳未満の人は製品を使用しないでください。

## 取扱説明書について

- ・本書には、製品の組立や操作、整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。
- ・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
- ・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。
- ・単位はS I単位(国際単位系)を使用しています。( )内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。

## 製品の貸与、譲渡

- ・本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。

## 保証書

- ・この製品には保証書が同梱されています。
- ・使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。
- ・詳しくは保証書をお読みください。

## お問い合わせ先

- ・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

## おことわり

- ・この製品はエンジン始動時に*イ*スタート方式を採用していますので、スタータグリップを引いたときに大変軽く引くことができます。
- ・*イ*スタート背引式は、背負ったままでもエンジンを始動することができます。
- ・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・本製品は一部部品の組立作業が必要となります。
- ・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

# 目次

<b>▲安全にご使用いただくために</b> .....	<b>3</b>	<b>4 . エンジンの運転</b> .....	<b>16</b>
警告表示 .....	3	4-1 エンジンの始動 .....	16
その他の表示 .....	3	4-2 エンジンの停止 .....	18
シンボルマーク .....	3	<b>5 . 噴霧作業</b> .....	<b>18</b>
警告表示ラベルの貼付け位置 .....	4	<b>6 . 点検・整備</b> .....	<b>19</b>
一般的なご注意 .....	5	6-1 点検・整備の目安 .....	19
燃料およびエンジン取扱い上のご注意 .....	6	6-2 点検・整備要領 .....	19
農薬使用上の留意点 .....	8	6-3 故障診断表 .....	22
薬液噴霧作業上のご注意 .....	9	6-4 長期保管(30日以上) .....	23
製品取扱い上のご注意 .....	10	<b>7 . 仕様</b> .....	<b>24</b>
<b>1 . 梱包部品一覧</b> .....	<b>11</b>	<b>8 . その他</b> .....	<b>25</b>
<b>2 . 各部の名称と機能</b> .....	<b>12</b>	8-1 補用品と消耗品 .....	25
<b>3 . 作業前の準備</b> .....	<b>13</b>	8-2 アクセサリー類(別売品) .....	25
3-1 組立 .....	13	<b>索引</b> .....	<b>26</b>
3-2 薬液の準備 .....	14		
3-3 燃料の準備 .....	15		

## ⚠ 安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

### 警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

#### ⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

#### ⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

#### ⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

### その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。




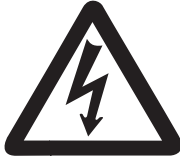




丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

### 重要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

### シンボルマーク

本書ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を十分に理解してください。

シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	作業中は、保護具を必ず着用すること。		高温部に注意すること。
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと。		回転部の巻き込まれに、注意すること。
	火災に注意すること。		毒性に注意すること。

## ⚠ 安全にご使用いただくために

### 警告表示ラベルの貼付け位置

- ・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
- ・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。

#### ⚠ 注意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。

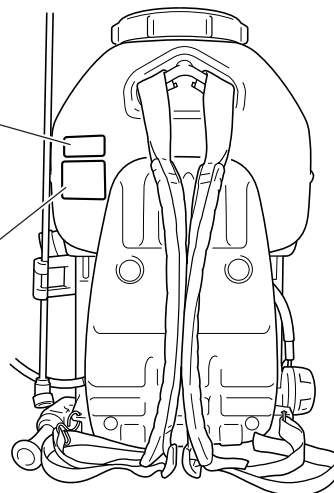
部品番号：890016-07010

#### ⚠ 警告

●作業中は、かならず保護めがね、保護マスク、耳栓、保護衣を使用してください。

●農薬ラベル及び取扱説明書の農薬使用上の留意点をよく読んで正しく使用して下さい。

部品番号：890016-06212

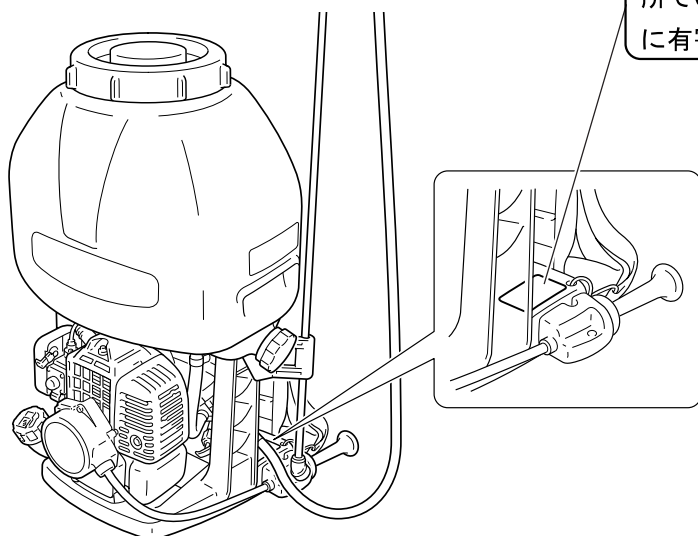


#### ⚠ 警告

#### 排気ガスに注意

室内（ハウス等）および換気の悪い場所での運転は排気ガスが充満し、人体に有害です。

部品番号：890098-06210



## ⚠ 安全にご使用いただくために

- ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
  - 本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
- 印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

### 一般的なご注意

#### ⚠ 警告

##### 取扱説明書

- ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
- 事故や重傷を負う原因となります。



##### 製品の使用目的以外の使用禁止

- 製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。
- 事故や重傷を負う原因となります。

##### 製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。

- ・ 疲労している人
  - ・ 酒を飲んでいる人
  - ・ 薬物を服用している人
  - ・ 妊娠している人
  - ・ 体調不良の人
  - ・ 取扱説明書を読んでいない人
  - ・ 16歳未満の人
  - ・ 農薬の影響を受けやすい人
- 事故の原因となります。



##### 製品の改造禁止

- ・ 製品を改造してはいけません。
- 事故や重傷を負う原因となります。
- 製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

##### 点検・整備をしていない製品の使用禁止

- ・ 点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
- 事故や重傷を負う原因となります。

##### 製品の貸与、譲渡

- ・ 製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
  - ・ 製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
- 事故や重傷を負う原因となります。

##### 製品の使用環境・作業環境

- ・ 急傾斜地や雨上がりなどの足元が不安定な場所では滑りやすく危険なので、製品を使用しないでください。
  - ・ 夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
- 転倒や滑落、誤った操作などにより重傷を負う原因となります。

##### 健康管理

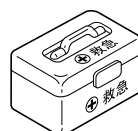
- ・ 健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
  - ・ 長時間の連続作業は避け、2時間を限度としてください。
- 健康障害を受ける恐れがあります。

##### ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。

- ・ 救急箱（応急手当用）
- ・ タオルやてぬぐい（止血用）
- ・ 呼子や携帯電話（外部との連絡用）

緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



# ⚠ 安全にご使用いただくために

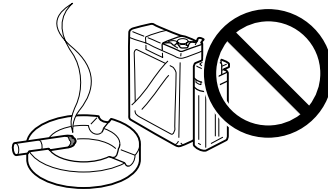
## 燃料およびエンジン取扱い上のご注意

### ⚠ 危険

#### 燃料給油時は火気厳禁

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。次の項目に注意してください。

- 燃料給油中にタバコを吸ったり、火花を近づけない
- エンジンが熱いときやエンジン運転中は、燃料補給をしない  
燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



### ⚠ 警告

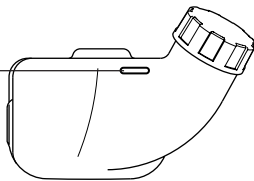
#### こぼれた燃料は火災の原因

燃料給油時は次の項目に注意してください。

- 燃料は燃料タンクの口元まで入れずに、規定レベル以下に補給
- 燃料を入れすぎてあふれたり、こぼれた場合はこぼれた燃料を拭き取る
- 燃料を給油した後は燃料タンクキャップを確実に締付ける  
こぼれた燃料に引火して火災や火傷の原因となります。

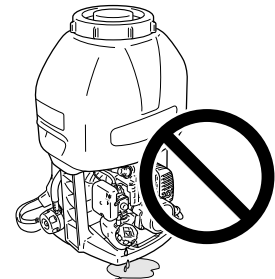
規定レベル

燃料は燃料タンクの  
規定レベルを超えない  
範囲で補給すること



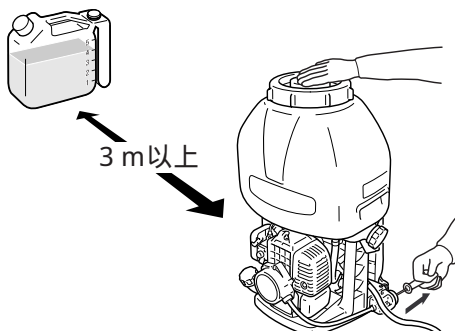
#### 燃料漏れは火災の原因

- 燃料補給後に、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れやにじみがないかを確認してください。
- 燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。



#### 燃料補給地でのエンジン始動禁止

- 燃料を補給した場所でエンジンを始動してはいけません。エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から3 m以上移動してください。  
燃料補給時の漏れた燃料に引火し火災の原因となります。



#### ポリ容器での燃料保管は禁止

- 燃料はできるだけ使い切ってください。やむを得ず保管する場合は次の項目に注意してください。
- 鋼板製のガソリン携行缶で保管
  - 保管期間は1ヶ月程度
  - ポリ容器やペットボトルに燃料を入れての保管は禁止  
ペットボトルなどでの保管は火災やエンジン不調の原因となります。





# ⚠ 安全にご使用いただくために

## 燃料およびエンジン取扱い上のご注意

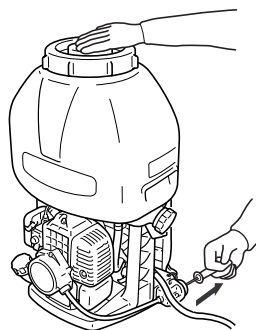
### ⚠ 警告

#### エンジン始動時

エンジンを始動するときは、特に次の項目に注意してください。

- ・ ボルトやナット類のゆるみ
- ・ 燃料が漏れていないか確認
- ・ 燃料戻りパイプが折れ曲がっていないか確認
- ・ 薬液タンクキャップはしっかり締付け
- ・ 製品を平坦で通気の良い場所に置く
- ・ 周囲は広くとり、人や動物を近づけない
- ・ 障害物は取除く
- ・ ノズルコックは閉じる
- ・ 薬液タンクがカラの状態での始動禁止
- ・ 背負わずに始動する場合は、製品を地面にしっかりと押え始動操作

始動前の注意を怠ると、事故や重傷を負う原因となります。



#### 始動後は異常振動・異常音の確認

- ・ エンジンを始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。  
異常振動・異常音がある場合は製品を使用はいけません。販売店に修理を依頼してください。  
部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

#### 発火・発煙には、まず安全確保

- ・ エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、まず身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。  
次に落ち着いて製品を観察し、発火が拡大するようであれば、火災や周囲に類焼をおよぼす前に、シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。

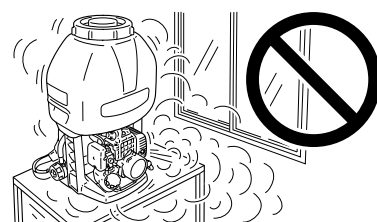
あわてて対処しようとする、火災やその他の傷害の拡大につながります。



#### 排気ガスは有毒

- ・ エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。
- ・ 屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。
- ・ ハウス内防除の際は、出入口を開放し、天窓を開けたり巻上げをして、通気・換気に充分注意してください。

排気ガスによる中毒事故の原因となります。



#### 点検・整備時はエンジン停止

作業後に製品の点検・整備を行なう場合は次の項目に注意してください。

- ・ エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検・整備  
火傷を負う原因となります。
- ・ スパークプラグキャップを外して点検・整備  
突然の始動により事故を起こすことがあります。



#### 移動時はエンジン停止

次のような移動時はエンジンを停止し、マフラは身体から離してください。

- ・ 作業場へ移動するとき
- ・ 作業中に他の場所へ移動するとき
- ・ 作業場から帰るとき  
傷害や火傷を負う原因となります。



# ⚠ 安全にご使用いただくために

## 農薬使用上の留意点

農薬取締法が改正されました。

- ・平成15年3月の農薬取締法改正にともなう省令に基づく使用基準により  
使用する作物に登録のある農薬を使用すること  
使用濃度（希釈倍率）および面積あたりの使用量  
収穫前使用日数  
使用回数

の4点については農薬使用者が遵守する義務が生じています。

## ⚠ 警告

### 農薬の取扱い

- ・農薬の取扱いにあたっては、農薬ラベルをよく読み、必ず記載されている事項を確認してください。
- ・製品ならびに農薬の知識を持たない人が、農薬を取扱ってはけません。  
農薬の誤った使用は、重大な薬害事故の原因となります。



### 農薬は必ず使い切る

- ・農薬は残らないよう調製し、必ず使い切ってください。  
第三者が農薬と知らずに誤って飲み込むなど、重大な薬害事故を引起す恐れがあります。

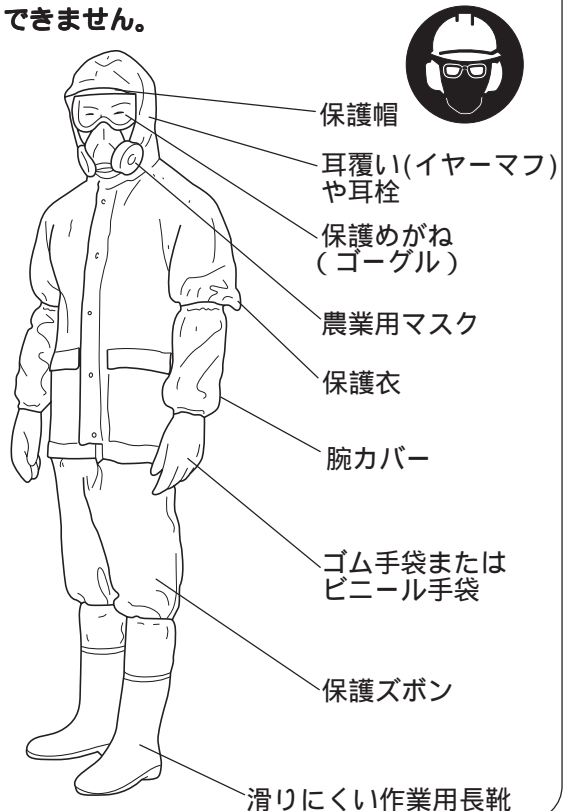


### 農薬使用上の注意

- ・農薬噴霧時は、農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。農薬に直接触れないよう注意してください。
- ・作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- ・農薬が目に入らないように注意してください。
- ・誤飲、誤食に注意してください。誤って飲み込んだ場合は、吐き出し、直ちに医師の手当てを受けてください。また、農薬使用中に異常を感じたときは、直ちに医師の手当てを受けてください。
- ・また、農薬の種類によっては、  
農薬が目に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。  
かぶれを生ずる場合がありますので注意が必要です。また、かぶれやすい人は、使用を控える必要があります。
- ・環境へ配慮した使用が必要です。  
防除対象作物以外への飛散がないよう注意してください。
- ・農薬は、子供の手が届かない場所に保管してください。

### 保護具の着用

- ・適切な衣類と正しい保護具を身に付けてください。農薬に直接触れたり吸引すると、薬害事故を引起す恐れがあります。
- 注)製品には、農薬噴霧時に着用するマスクとして防除マスクを付属していますが、防毒マスクではありませんので、防毒マスクとしての使用はできません。





# 安全にご使用いただくために

## 薬液噴霧作業上のご注意

### 警告

#### 薬液の取扱い

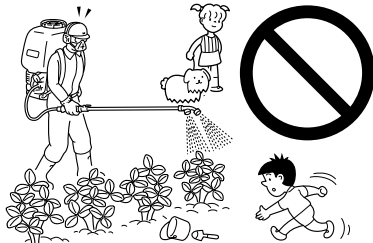
- ・ 薬液はタンクからあふれるほどの量を入れしないでください。また、こぼれた薬液はすぐに拭き取ってください。
- ・ 薬液タンクキャップはしっかりと締め、運転時に薬液が漏れないようにしてください。こぼれたり漏れた薬液は、放置しておくこと薬害の原因となります。

#### 運転中は薬液タンクキャップをゆるめない

- ・ エンジン運転中に、薬液タンクキャップをゆるめたり開けてはいけません。薬液が吹き出し、事故の原因となります。

#### 第三者の立入禁止

- ・ 作業を行なう場所をよく調べ、作業関係者以外の人・子供・家畜・養蚕・養蜂・他の作物などが近くにないことを確認してください。無防備な第三者の薬害事故や、環境被害の原因となります。



#### 悪条件下での作業禁止

- ・ 夜間や視界が悪く暗い場所では、製品による噴霧作業をしてはいけません。操作ミスによる事故や薬害の恐れがあります。
- ・ 風が強いときには噴霧作業を行わないでください。薬液の分散を防ぐため、噴霧作業は風のない温度が安定している朝、または夕方を選んで行ってください。風に乗って予期しない方向へ農薬が飛び、薬害事故を引起す原因となります。
- ・ 噴霧は、風下に向かって行ってください。作業側側に薬液が飛ぶ原因となります。

#### 作業中の飲食禁止

- ・ 薬液の噴霧作業をしながら、タバコを吸ったり食べ物・飲み物をとったりしないでください。タバコや飲食物に付着した農薬が、それらを介して体内にはいる恐れがあります。



#### 農薬噴霧後の圃場には立入らない

- ・ 農薬噴霧直後の圃場に無防備で立入ってはいただけません。除草などの管理作業はあらかじめ行なっておきます。
- ・ 第三者の立入にも注意してください。噴霧された農薬による薬害事故の原因となります。

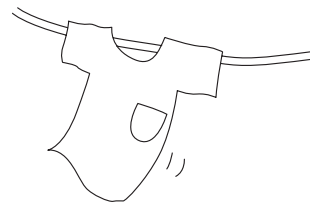
#### 体に異常を感じたら

- ・ 作業中あるいは作業終了後に体に異常を感じたときは、すぐに医師の診察を受け、使用していた農薬の種類を教えてください。処置が遅れることにより、重大な薬害につながる可能性があります。



#### 作業時の着衣は、他と別に洗濯

- ・ 薬液噴霧作業中に着ていた服は、他の衣服とは別に洗濯してください。付着した農薬が、他の衣服に移る恐れがあります。



# ⚠ 安全にご使用いただくために

## 製品取扱い上のご注意

### ⚠ 警告

#### 製品使用時

製品を使用するときは、特に次の項目に注意してください。

- ・ 作業場所に、作業に関係のない人や動物を近づかせない
- ・ ノズルを人や動物に向けない
- ・ 足場の悪い場所では製品を使わない
- ・ ノズルグリップは、しっかりと握る
- ・ 全装備での製品操作は、バランスを失わないように注意
- ・ 夜遅くまたは朝早く近隣の人に騒音で迷惑をかけるときは、製品の使用を避ける  
事故や傷害の原因となります。



#### 製品は常に正立状態で使用

- ・ 製品は真直ぐに立てた状態で使用するよう設計されています。使用時および移動時に、横にしたり極端に傾けたりしないでください。  
燃料漏れや薬液漏れの原因となります。

#### 異常を感じたら直ちにエンジン停止

- ・ 作業中に製品が突然異常な音を発したり、異常な振動をした場合は、直ちにエンジンを停止してください。

異常振動・異常音がある場合は製品を使用してはいけません。販売店に修理を依頼してください。故障した製品をそのまま使用すると、事故や傷害の原因となります。

#### 運転中は高温部、高電圧部に接触禁止

製品の運転中および停止後しばらくの間は、次の高温部や高電圧部に触らないでください。

- ・ マフラやシリンダなどの高温部  
高温部に触れると火傷します。
- ・ スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部  
運転中に高電圧部に触れると感電します。



#### 薬液ストレーナは正しく付ける

- ・ 薬液ストレーナは常に薬液タンク口に正しく付けておいてください。  
かくはん水の勢いが強いので、運転作業中、薬液残量が少なくなると、薬液タンクキャップのブリーザ孔から薬液が漏れることがあります。

#### リコイルスタータの分解禁止

- ・ リコイルスタータには強力なスプリングが組み込まれていますので、分解してはいけません。  
スプリングがはじけて失明や重傷事故を起こす恐れがあります。

#### スパークプラグの点検

スパークプラグの点検では次の項目に注意してください。

- ・ 電極やターミナルの摩耗、ガイシに亀裂がある場合は新品と交換
- ・ スパークプラグの火花を確認する発火テストは熟練者以外の方は禁止、販売店に依頼
- ・ シリンダのプラグ孔付近での発火テストは禁止
- ・ 燃料がこぼれたり、燃えやすいガスがある場所での発火テストは禁止
- ・ スパークプラグの金属部に触れることは禁止  
引火による火災  
および感電事故の原因となります。



#### 燃料を入れたまま車での移動は禁止

- ・ 車で運搬する場合は燃料タンクをカラにして、製品を立てた状態で動かないようにしっかり固定してください。  
燃料を入れたまま車で移動すると、火災の原因となります。

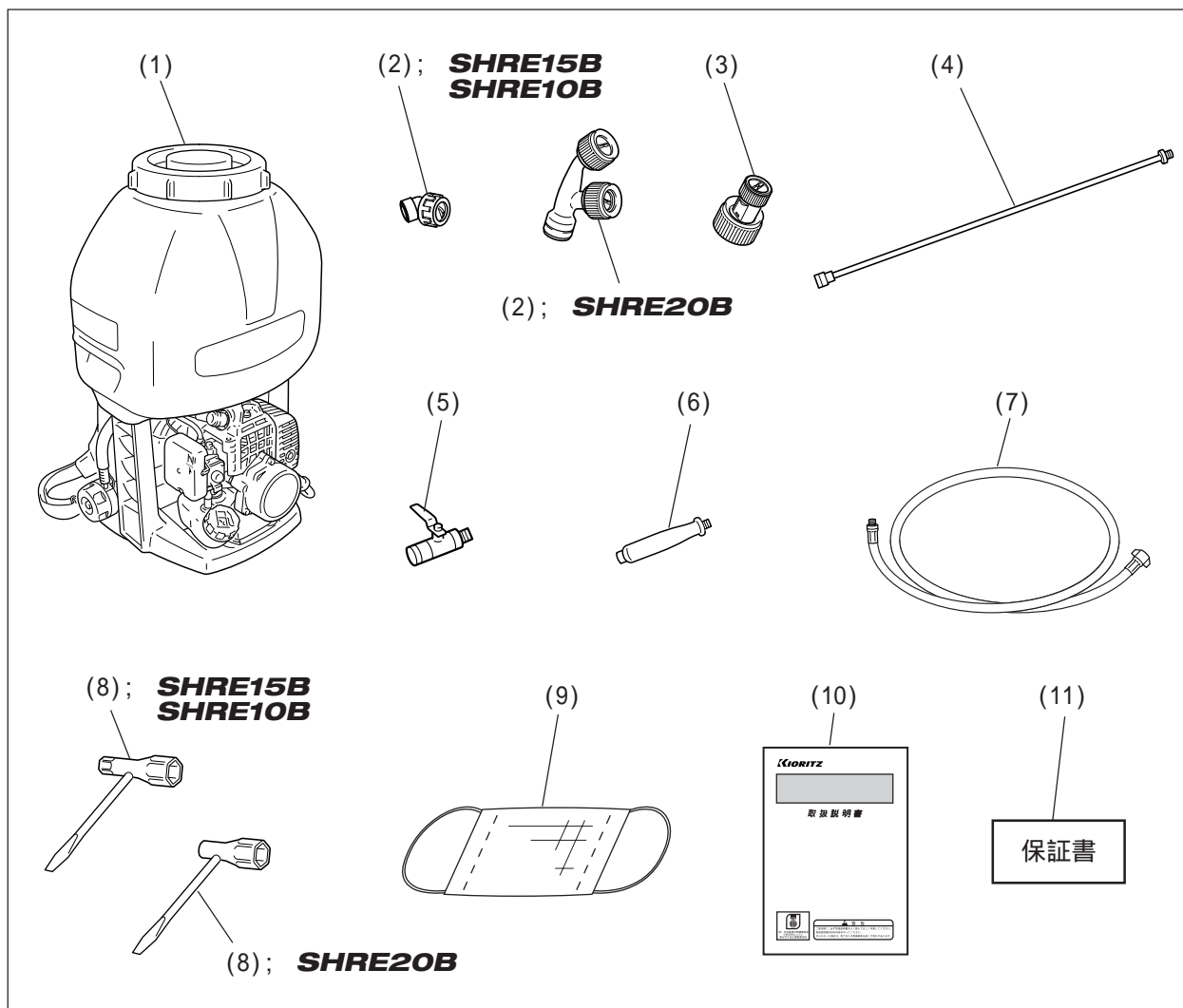
#### 製品の保管場所

- ・ 燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に製品を保管しないでください。  
火災の原因となります。



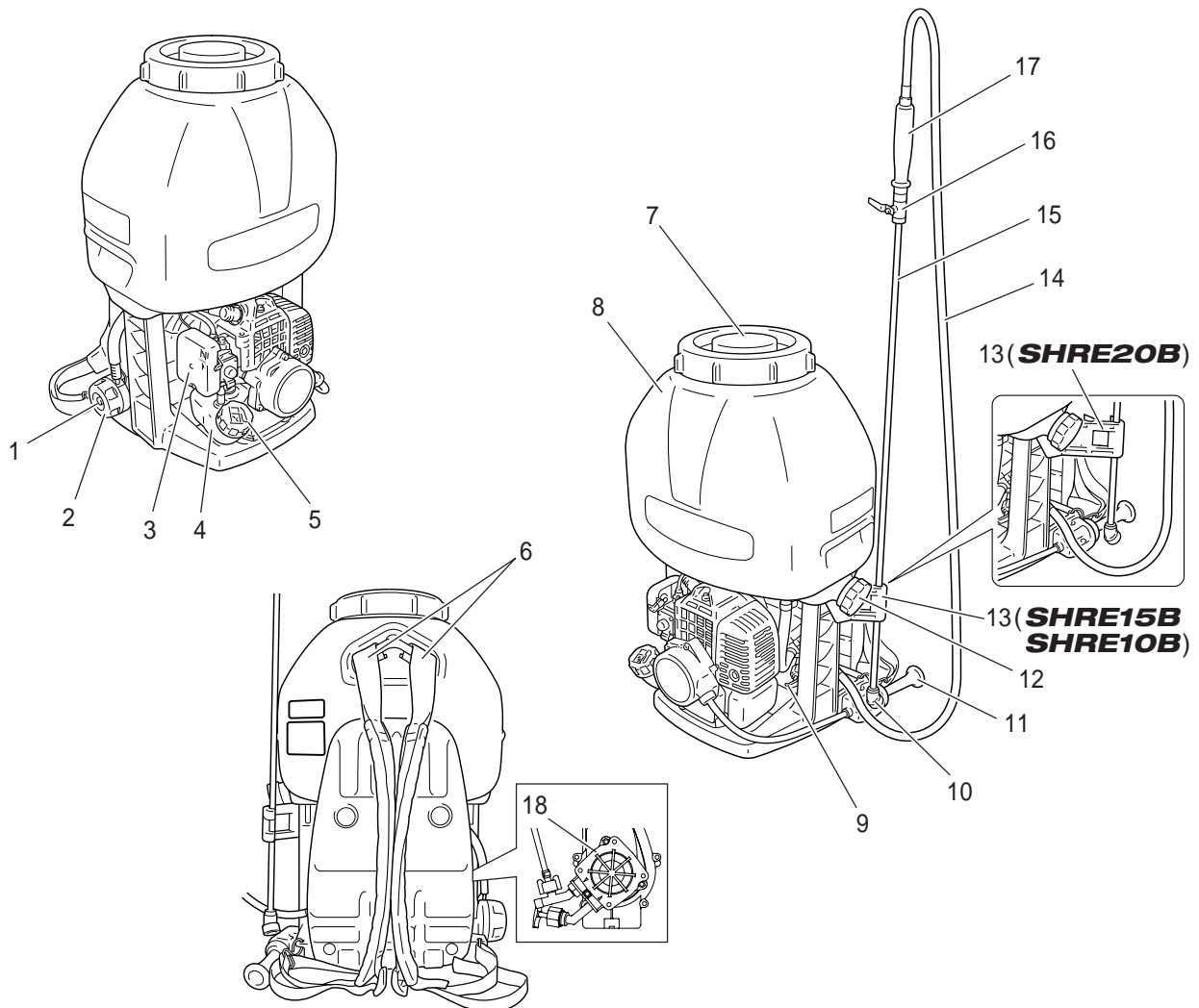
# 1. 梱包部品一覧

- ・ 梱包箱の中には、下記部品が分かれて梱包されています。
- ・ 梱包箱を解きましたら、中の部品を確認してください。
- ・ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



番号	部品名称	個数	
		SHRE15B SHRE10B	SHRE20B
(1)	製品本体	1	1
(2)	ノズル(広角一頭口)	1	
	ノズル(新スワース噴口)		1
(3)	ラウンドノズルチップ	1	2
(4)	ノズルパイプ	1	1
(5)	ノズルコック	1	1
(6)	ノズルグリップ	1	1
(7)	ホース	1	1
(8)	ソケットレンチ(10mm x 19mm)	1	
	ソケットレンチ(19mm)		1
(9)	防除マスク(2個入り1パック)	1	1
(10)	取扱説明書	1	1
(11)	保証書	1	1

## 2 . 各部の名称と機能



- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1 . ストップスイッチ    | エンジンを停止するときを押すスイッチです。  |
| 2 . スロットルダイヤル   | エンジン回転数を指で調節するためのものです。   |
| 3 . エアクリーナ      | エンジンに供給される空気をきれいにします。  |
| 4 . 燃料タンク       | 燃料を入れる容器です。  |
| 5 . 燃料タンクキャップ   | 燃料タンクを密封するふたです。  |
| 6 . 背負バンド       | 作業者が製品を背負う際に使用します。   |
| 7 . 薬液タンクキャップ   | 薬液タンクを密封するふたです。  |
| 8 . 薬液タンク       | 薬液を入れる容器です。  |
| 9 . ポンプドレン      | 薬液ポンプ内の薬液を排出する栓です。手を汚さずに薬液を排出できます。   |
| 10 . ノズル        | 薬液を霧化するためのものです。  |
| 11 . スタータグリップ   | エンジンを始動するときを使用します。 <b>スタート 背引式</b>   |
| 12 . タンクドレンキャップ | 薬液タンク内の薬液を排出する口のふたです。  |
| 13 . ノズルホルダ     | 製品を使用しないとき(格納時、運搬時など)にノズルパイプを固定しておくことができます。噴霧作業時は折りたたんでおきます。<br><b>SHRE20B</b> は、外側を使用します。 |
| 14 . ホース        | 薬液をノズルパイプに送るホースです。   |
| 15 . ノズルパイプ     | 薬液をノズルに送るパイプです。  |
| 16 . ノズルコック     | 噴霧を吐出、停止するコックです。   |
| 17 . ノズルグリップ    | ノズルパイプを操作する握りです。   |
| 18 . 薬液ポンプ      | 薬液を噴霧するためのポンプです。   |

## 3 . 作業前の準備

### 3 - 1 組立

#### ⚠ 警告

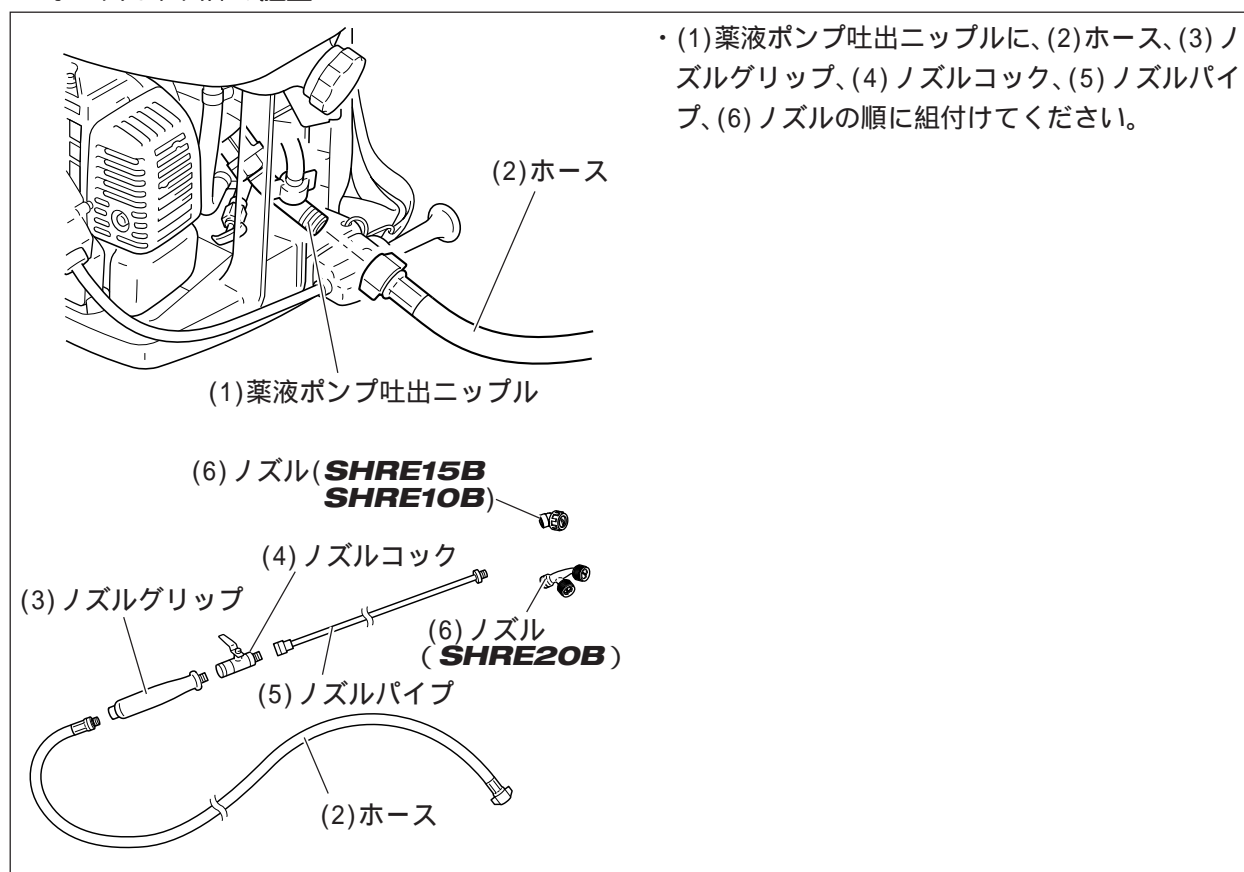
取扱説明書をよく読んで、正しく組立ててください。

誤って組立てた製品を使用すると、重傷事故を起こす原因となります。

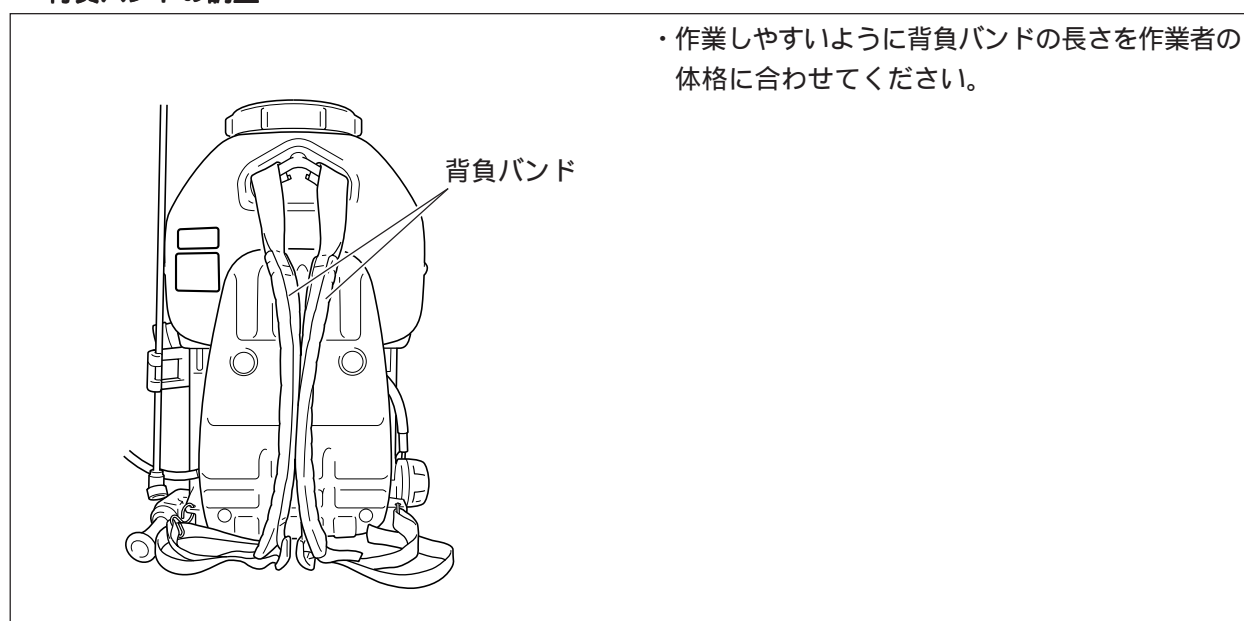
また、組付けが不確実ですと、薬液が漏れ、薬害事故の原因となります。



#### ホースとノズルの組立



#### 背負バンドの調整





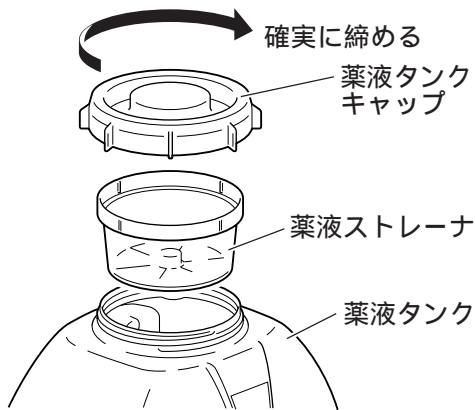
## 3. 作業前の準備

### 3-2 薬液の準備

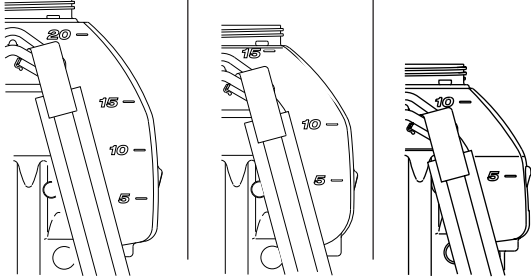
#### 重 要

- ・製品の薬液タンク内で薬液を、直接調合しないでください。
- ・薬剤は濃度が均等になるように溶かしてください。固まりが残ると、ノズルの目詰まりの原因となります。

#### 薬液補給



#### SHRE20B SHRE15B SHRE10B



- ・薬液補給前に必ずノズルコックを閉じ、タンクドレンキャップを締付けてください。
- ・薬液は必ず薬液ストレーナを使用して補給してください。(タンク内のゴミは、ノズルの詰まりの原因となります。)
- ・薬液はタンクからあふれるほどの量を入れしないでください。また、薬液がこぼれたときはすぐに拭き取ってください。
- ・薬液タンクキャップはしっかりと締め、運転時に薬液が漏れないようにしてください。
- ・薬液の補給は、カラ運転防止のために、必ずエンジン始動前に行なってください。
- ・タンクの横にあるマークは、各々5,10,15,20 Lを示します。

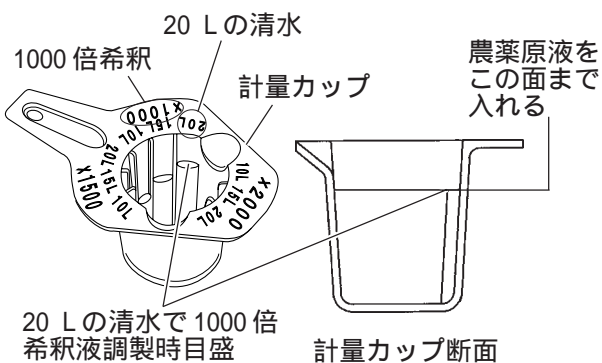
**SHRE10B;** 10 L

**SHRE15B;** 15 L

**SHRE20B;** 20 L

#### 計量カップ (SHRE20Bのみ付属しています。薬液ストレーナの凸部に取り付けてあります。)

例:1000倍希釈液を20Lの清水で調製する場合



- ・計量カップを使用すると、1000,1500,2000倍の希釈薬液を計算することなく調製できます。
- ・計量カップの淵外側にあるX1000,X1500,X2000は希釈倍率を、内側にある10L,15L,20Lは清水の量を示しています。

#### 計量カップの使いかた

例:1000倍希釈液を20Lの清水で調製する場合

1. 計量カップを水平にします。
2. 希釈倍率(1000倍)と使用清水量(20L)に合った目盛の上面まで農薬原液を入れます。
3. 計量した農薬をバケツなどで清水と混合、かはんします。

## 3. 作業前の準備

### 3 - 3 燃料の準備

#### ⚠ 危険

- 燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に充分注意してください。  
燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしてはいけません。
- エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしてはいけません。  
燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



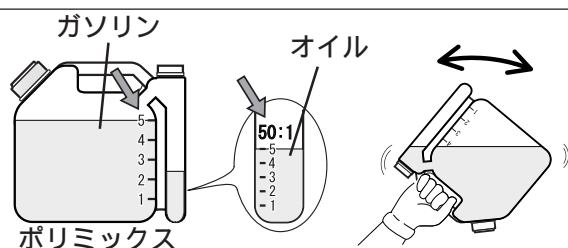
#### ⚠ 警告

- 燃料を補給する際は燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
- 燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。

#### 重要

混合燃料は劣化しやすいので、使用する分量だけ混合してください。燃料の混合は、製品の燃料タンクで行なわないで、ポリミックス（別売品）を使用して、よく混合してください。

#### 燃料



ポリミックス 2サイクルエンジンオイルの種類と混合比

ガソリン L	2サイクルエンジンオイル mL	
	50 : 1	25 : 1
2	40	80
4	80	160
5	100	200

- 燃料はレギュラーガソリン（アルコール混入燃料はゴム製部品の劣化を早めます）と、2サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。
- 2サイクルエンジンオイルの種類はJASO性能分類により「FA・FB・FC」の3種類に分類し容器に表示しています。共立純正2サイクル専用オイルは「FC」で[50 : 1]で使用します。
- 混合する比率は、2サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用してください。

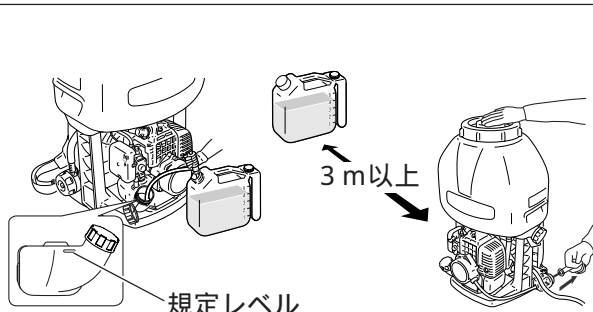
#### 共立純正2サイクル専用オイル

JASO性能分類 FC ; [50 : 1]

2サイクルエンジンオイル

JASO性能分類 FB、FA ; [25 : 1]

#### 燃料補給



燃料は燃料タンクの規定レベルを超えない範囲で補給すること

燃料補給地でエンジンを始動しないこと

- 燃料は必ず規定レベル以下に補給してください。規定レベルを超えると使用時キャブレタから燃料が漏れることがあり、火災の原因になります。
- 燃料タンクには、外気との間に圧力差が生じています。燃料を補給するときは、燃料タンクキャップをすこしゆるめて圧力差を取除いてください。
- 燃料タンクキャップを開け、燃料補給ポンプなどを使用してこぼさないように補給してください。
- エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から3m以上移動してください。
- 補給用タンクは火気のない日陰に置いてください。

## 4 . エンジンの運転

### 4 - 1 エンジンの始動

#### ⚠ 警告

エンジンを始動する場合は、本書の「安全にご使用いただくために」(3～10ページ)記載の「注意事項」を守って正しく操作してください。

「注意事項」を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります。

#### ⚠ 注意

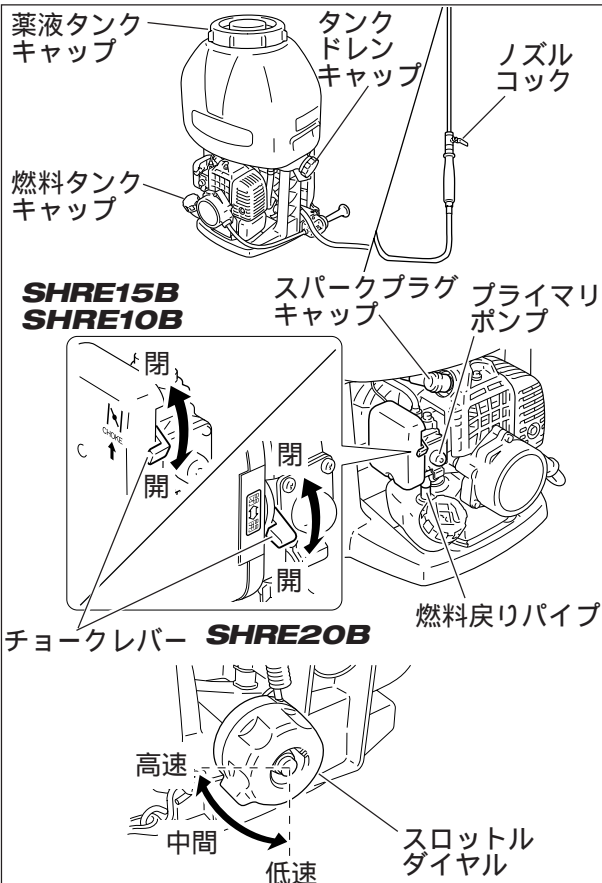
スタータグリップを引いてから、遅れてエンジンが始動することがあるので、注意してください。

思わぬトラブルによるケガをする恐れがあります。

#### 重 要

- ・ エンジンを始動する前に、必ず薬液タンクに薬液、あるいは清水を入れます。
- ・ 本製品の防振構造はエンジン、薬液ポンプを防振ゴムで浮かせている構造ですので、エンジン始動時のリコイル操作は必要以上の力を加えず操作してください。
- ・ スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引き紐の2 / 3以上は引出さないでください。
- ・ スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
- ・ エンジン始動操作のときに最初の爆発音が聞こえたら、チョークレバーを戻して再度スタータグリップを引くと始動します。最初の爆発音を聞き逃さないようにしてください。
- ・ アイドリング(低速回転)に戻さずにチョークストップなどでエンジンを停止すると、故障する恐れがあります。
- ・ 緊急時以外は必ずアイドルリング(低速回転)状態にして停止してください。
- ・ 薬液がノズルから出なくなったらすぐにエンジンを停止してください。薬液タンクがカラの状態ではエンジンを始動しないでください。

#### 冷えたエンジンの始動

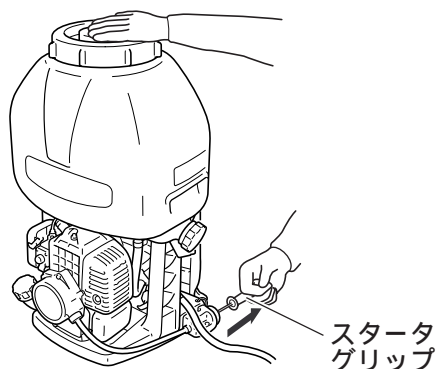


(長期保管の後は、スパークプラグキャップを接続してください。)

エンジンの始動には、冷えたエンジンの場合と暖まっているエンジンの場合があります。冷えたエンジンの始動は次のようにしてください。

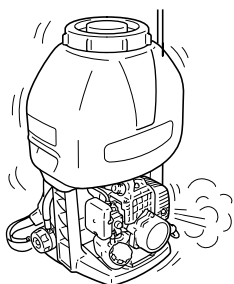
1. 製品を平坦な地面に置き、ノズルなど作業に必要な部品が組付けられていることを確認します。
2. 薬液タンクキャップ、燃料タンクキャップ、タンクドレンキャップがしっかり締付けられていて、ノズルコックが閉じていることを確認します。
3. 燃料が漏れていないことを確認します。
4. 薬液ポンプ破損防止のため、薬液タンクがカラの状態では、エンジンを始動したり、運転をしないでください。
5. チョークレバーを「閉」(N)の位置にします。
6. スロットルダイヤルを中間位置にしてください。
7. プライマリポンプを押す・離すの操作をくり返して、燃料戻りパイプから燃料が下がってくるのを確認してください。

## 4. エンジンの運転



8. 周囲の安全を確認して、図のように薬液タンクキャップをしっかり押え、スタータグリッブを数回引いてください。
9. 爆発音がし、すぐに止まった場合は、チョークレバーを「開」の位置にして、更にスタータグリッブを引き始動させてください。
10. 上記8.の操作ですぐにエンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に「開」の位置に戻してください。
11. 低速のまましばらく暖機運転をしてください。

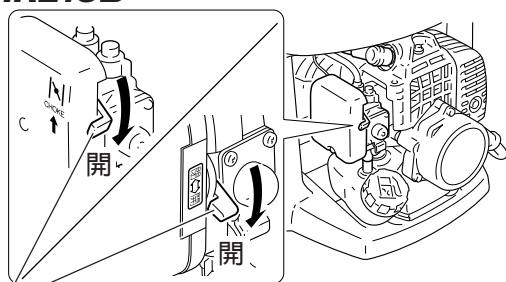
### エンジンの暖機運転



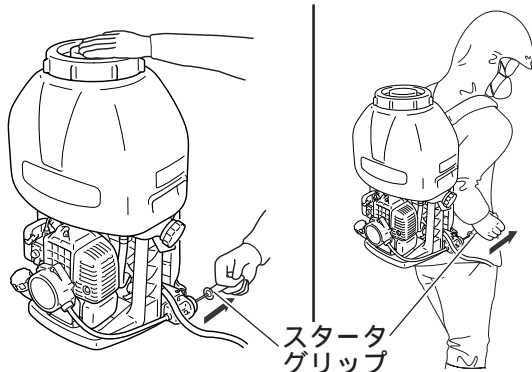
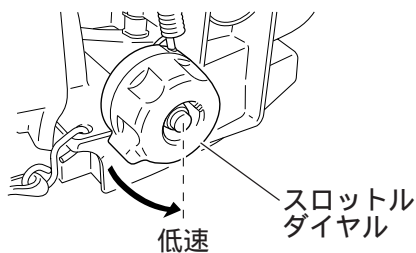
1. エンジンが始動したら、2～3分間、アイドルング（低速回転）で暖機運転を行ないます。
2. 暖機運転は、エンジン内部の潤滑を円滑にします。特に冷えているときは、充分に行ないます。
3. ノズルを取付けない状態での運転は絶対に行わないでください。

### 暖まっているエンジンの始動

**SHRE15B  
SHRE10B**



チョークレバー **SHRE20B**



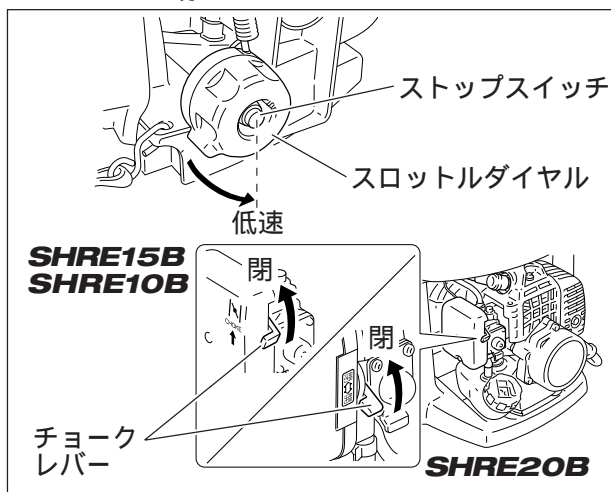
1. チョークレバーが「開」の位置になっていることを確認してください。
2. スロットルダイヤルを低速の位置にしてください。
3. 燃料タンクがカラでなければ、2～3回スタータグリッブを引いてエンジンを始動させてください。  
エンジンが始動しないときは、冷えたエンジンと同じ方法で始動してください。
4. 周囲の安全を確認して、図のように薬液タンクキャップをしっかり押え、スタータグリッブを引いてエンジンを始動させてください。  
エンジンが暖まっている場合は、図のように製品を背負ったまま、スタータグリッブを引いて始動できます。( *イ*スタート背引式 )



## 4 . エンジンの運転

### 4 - 2 エンジンの停止

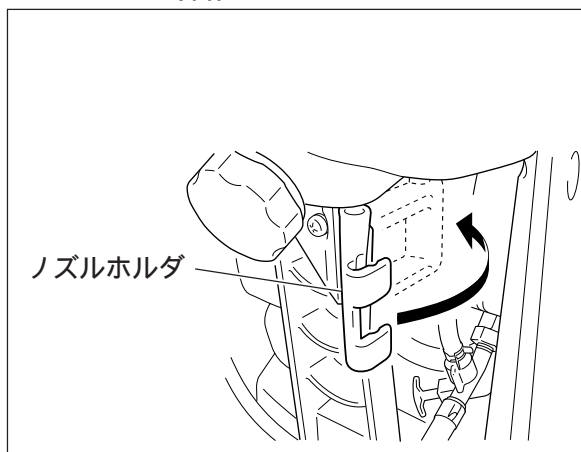
#### エンジンの停止



1. スロットルダイヤルを低速の位置にし、エンジンをアイドリング（低速回転）状態にしてください。
2. ストップスイッチを押してください。
3. 緊急の場合は、直ちにストップスイッチでエンジンを停止してください。
4. エンジンが停止しないときは、チョークレバーを「閉」(H)の位置にしてください。エンジンは失速し停止します。（チョークストップ）ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合、機械を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。

## 5 . 噴霧作業

#### エンジンの操作



- ・ノズルコックは噴霧作業が始まるまで必ず閉じておきます。薬液系統に漏れがないか、接続状態を確認してください。
- ・暖機運転が終わってからスロットルダイヤルを高速側に回してエンジン回転を上げ、ノズルコックを開いて作業に入ります。（本機は、クラッチ伝達方式です。動力を完全伝達できるエンジン回転で使用してください。）
- ・作業時は、図のようにノズルホルダを折りたたんでください。
- ・ハウス内噴霧の際は、通気・換気に充分注意してください。

#### ノズル

##### SHRE15B SHRE10B 広角一頭口

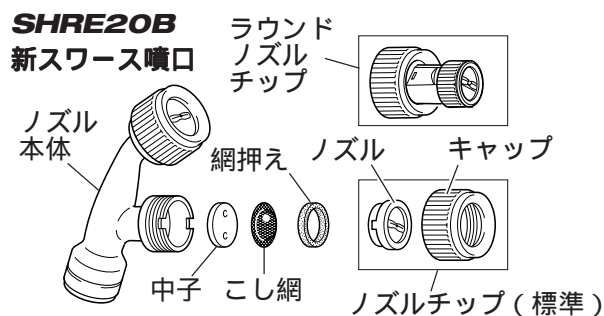


付属の標準ノズル以外のノズルもご利用いただけますが、吐出圧力と吐出量を標準のものと合わせてください。

標準ノズルの圧力と吐出量

	ノズル圧力	ノズル吐出量
<b>SHRE15B SHRE10B</b>	0.8 MPa	1.2 L/min
<b>SHRE20B</b>	0.9 MPa	1.5 L/min

##### SHRE20B 新スワース噴口



- ・除草剤を噴霧するときはノズルチップを付属のラウンドノズルチップに組替えてください。
- ・除草剤噴霧後は清水運転を行ない薬液ポンプ、薬液ホース内の除草剤を完全に排出してください。



## 6 . 点検・整備

### 6 - 1 点検・整備の目安

・お買い求め頂いた製品を調子よく安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行なってください。

#### 重 要

年単位および月単位の整備間隔については、実際の使用状況と経験から判断し、必要に応じて点検・整備の回数を増やしてください。

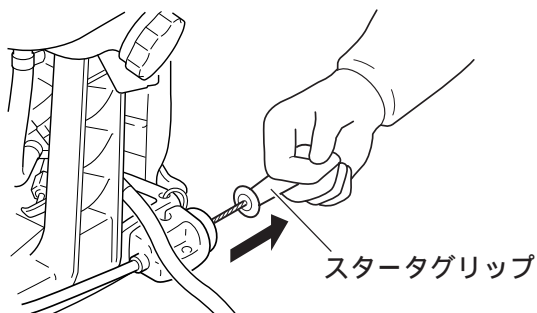
点検・整備箇所	点検・整備内容	掲載ページ	毎回	毎月	毎年
リコイルスタータ	点検	19			
エアフィルタ	点検 / 清掃 / 交換	20			
燃料系統	点検	20			
燃料フィルタ	点検 / 交換	20			
スパークプラグ	点検 / 清掃と調整 / 交換	21			
シリンダフィン	点検 / 清掃	21			
マフラ	点検 / 増し締め / 清掃	21			
薬液タンクと噴霧装置	点検 / 清掃	21			
薬液タンクブリーザ	清掃	21			
バイパスノズル板	清掃	22			
キャブレタ	調整	22			
ネジ、ボルト、ナット類	点検 / 増し締め / 交換	-			

### 6 - 2 点検・整備要領

#### 重 要

- ・作業が終了した後は、製品をよく清掃し常に最良の状態に点検・整備しておくことが、次回の噴霧作業を順調に進めるのに最も大切なことです。
- ・使用後は、必ずエアフィルタを清掃してください。
- ・燃料タンクは常に清掃しておきます。燃料タンクにゴミや砂などが入らないようにしてください。
- ・燃料フィルタが汚れていると、エンジン不調の原因となります。
- ・燃料フィルタの点検・交換時は、燃料フィルタが燃料タンクの底面に届いていることを確認してください。
- ・スパークプラグは締付け過ぎないでください。
- ・除草剤噴霧にご使用のあと一般防除作業にご使用になるときは、除草剤の残液を完全に排出して薬液タンクほか薬液系統を十分に清水で洗ってから作業してください。
- ・ご不明の点については、お買い求めの販売店にご相談ください。

#### リコイルスタータの点検（分解禁止）

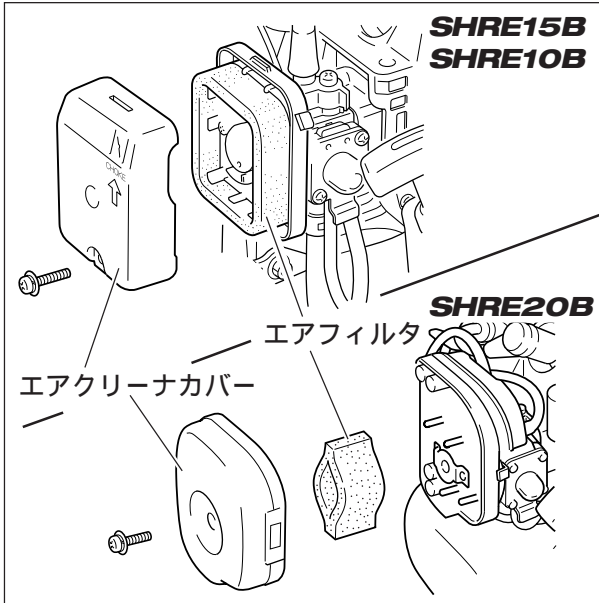


- ・スタータグリップが軽く引けない場合は故障ですので、分解せずにお買い求めの販売店へご相談ください。

## 6 . 点検・整備

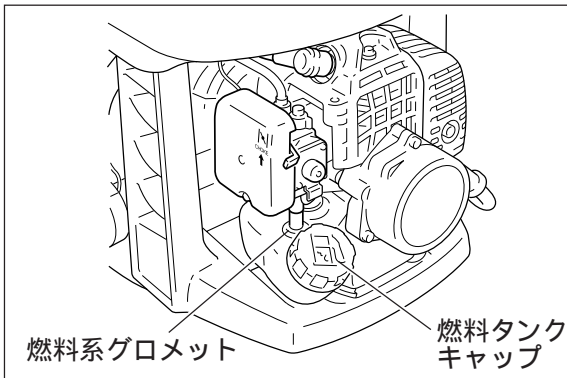
### 6 - 2 点検・整備要領 ( 続き )

#### エアフィルタの点検 / 清掃



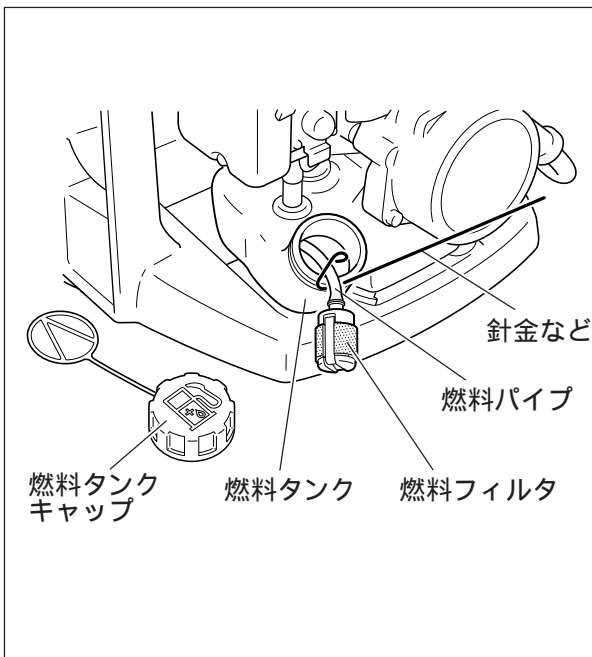
1. チョークレバーを「閉 (H)」の位置にしてから、エアクリーナカバーを外してエアフィルタを取外します。
2. エアフィルタの汚れ具合を点検し、汚れがひどい場合は中性洗剤で洗ってください。洗剤を使用した場合は、十分に水洗いをし、よく乾かしてください。
3. エアフィルタを完全に乾かしたのち、元の位置に取付けてください。

#### 燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップの点検



1. 燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。
2. 燃料の漏れ、にじみがある場合は、火災の原因となりますので、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

#### 燃料フィルタの点検 / 交換

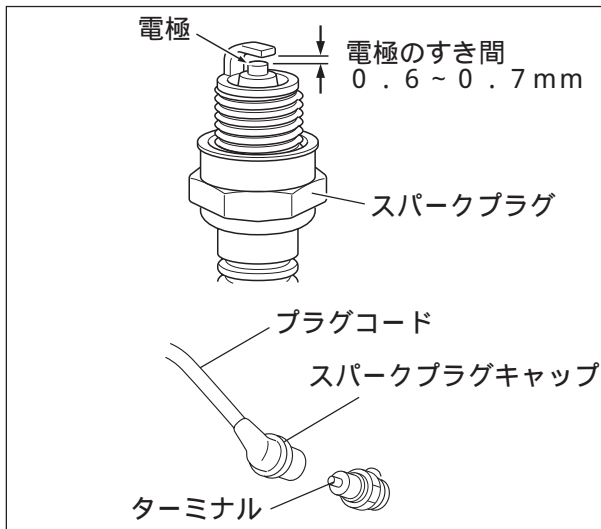


1. 燃料タンクキャップを外します。
2. 針金などを使用して、燃料パイプに傷をつけないように燃料フィルタを燃料タンクの給油口から取出してください。
3. 燃料が劣化していたり、水分やゴミが混入している場合には、燃料を交換してください。
4. 上記3.の場合にはタンク内や燃料フィルタ、燃料パイプも洗浄します。
5. 燃料フィルタ部分が黒く硬くなっている場合は汚れていますので、燃料パイプから古い燃料フィルタを取外し、新しい燃料フィルタと交換してください。
6. 燃料フィルタが燃料タンクの底面に届いていることを確認してください。
7. 点検・交換後は、燃料タンクキャップを確実に締付けてください。

## 6 . 点検・整備

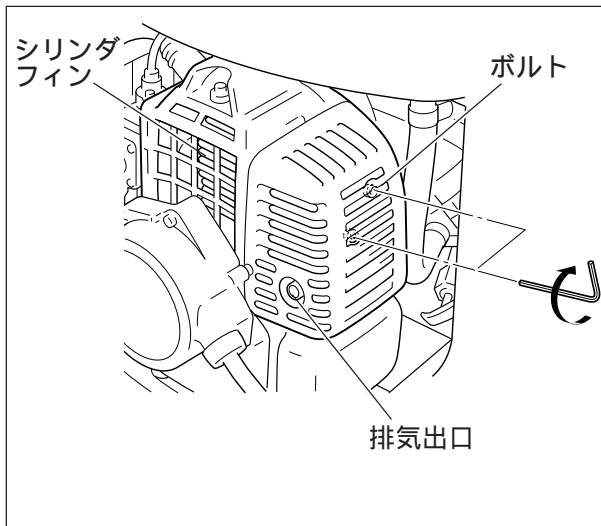
### 6 - 2 点検・整備要領 ( 続き )

#### スパークプラグ関連の点検



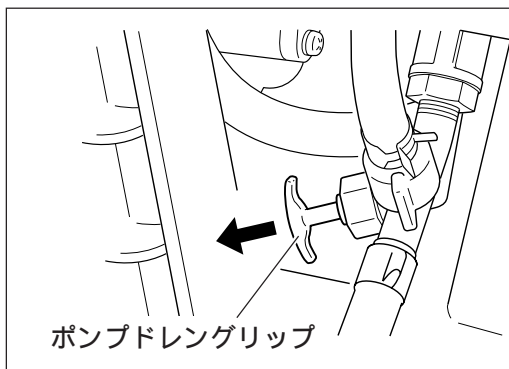
1. 付属のソケットレンチ(19mm)でスパークプラグを外してください。
2. 電極やターミナルが摩耗しているとき、すき間が規定寸法(0.6~0.7mm)でないとき、また電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは、新品と交換してください。
3. スパークプラグは、付属のソケットレンチでしっかり締付けてください。  
参考：締付けトルクは15~17N・m (150~170kgf・cm)です。
4. スパークプラグキャップの接続に異常がないか、プラグコードやスパークプラグキャップにヒビ割れ、ピンホールなどがないかを点検します。

#### シリンダフィンとマフラの点検



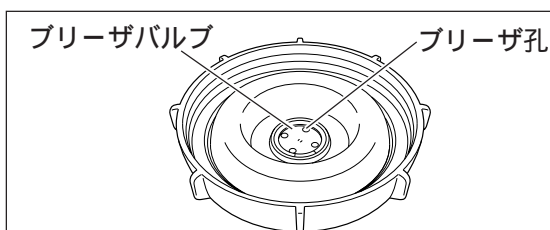
- ・シリンダフィンは常に清掃してください。シリンダフィンの中に物が詰まると、エンジンがオーバーヒートする恐れがあります。木の棒などを使って、芝、泥、葉、その他のゴミ屑をシリンダフィンの中から取除いてください。
- ・シリンダフィンは薄くて割れやすいので、清掃するときは金属の棒などで衝撃を与えないようにしてください。
- ・マフラのゆるみはガス漏れ、タール漏れを起こし思わぬ事故につながります。ゆるみがある場合は、六角レンチでボルトを増し締めしてください。
- ・排気出口のカーボンを取除いてください。エンジンの性能を一定に保つため、この作業は定期的実施してください。

#### 薬液タンクと噴霧装置の点検 / 清掃



- ・その日の作業が終わったら、清掃してください。
- ・薬液タンクに水を入れ、エンジンを始動してください。
- ・ノズルコックを開いて2~3分間ノズルで噴射し、噴霧装置の内部を清掃してください。
- ・洗浄後は薬液タンク内の洗浄水を完全に排出します。
- ・赤色のポンプドレングリップを図の矢印方向に引張り、薬液ポンプ内の洗浄水を完全に排出します。
- ・製品に付いた薬液も洗い流してください。

#### 薬液タンクブリーザの清掃

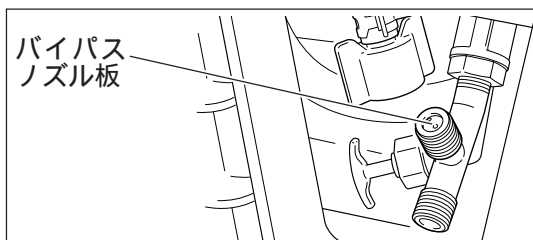


- ・ブリーザバルブとブリーザ孔は定期的に清掃してください。
- ・ブリーザバルブのシールの不良は、薬液の漏れを引起こします。ブリーザ孔の詰まりは、吐出圧力の低下、あるいは薬液タンクの破損を引起こす原因となります。

## 6 . 点検・整備

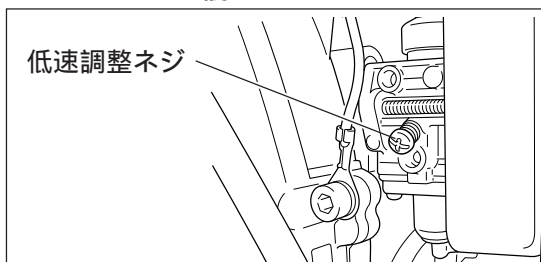
### 6 - 2 点検・整備要領（続き）

#### バイパスノズル板の清掃



- ・薬液がタンク内でよく“かくはん”されないときは、バイパスノズル板をきれいにしてください。水和剤などをご使用の際は特にご注意ください。

#### キャブレタの調整



- ・必要でない限り、キャブレタを調整しないでください。
- ・アイドルリング（低速回転）の調整が必要なおとき、キャブレタの低速調整ネジを回してください。反時計方向に回すと、エンジン回転は低下します。
- ・調整してもエンジン回転不調の場合は、お買い求めの販売店へご相談ください。

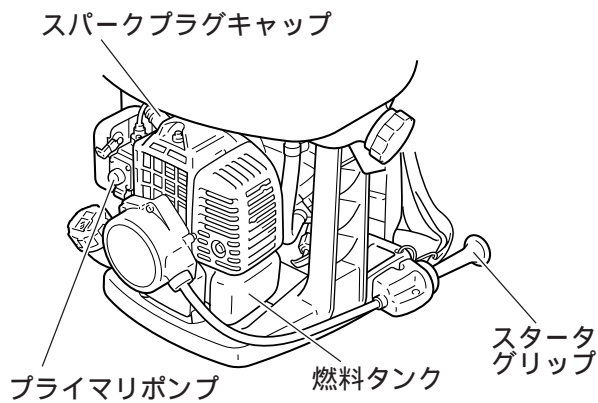
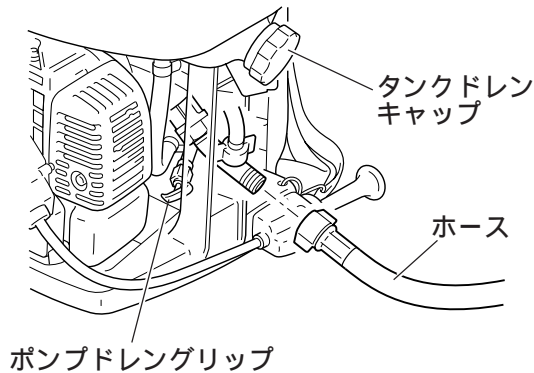
### 6 - 3 故障診断表

故障内容	故障診断	原因	対策
エンジンが始動困難、または始動しない	キャブレタに燃料がない	燃料フィルタの目詰まり 燃料系統の目詰まり キャブレタの不良	清掃か交換 清掃 販売店へ依頼
	キャブレタに燃料がある	キャブレタの不良 燃料の変質	販売店へ依頼 新しい燃料と交換
	クランク軸が回転しない	エンジン内部の故障	販売店へ依頼
	スパークプラグが汚れている、濡れている または発火しない	燃料の変質 電極の隙間が正しくない カーボンが付着している 電氣的障害	新しい燃料と交換 調整か交換 清掃か交換 販売店へ依頼
エンジンは始動するが加速できない、または加速不十分		エアフィルタの汚れ 燃料フィルタの汚れ 燃料通路の詰まり キャブレタの不良 スパークプラグの不良 排気口・マフラ出口の詰まり	清掃か交換 清掃か交換 販売店へ依頼 販売店へ依頼 清掃、調整か交換 清掃
薬液が噴霧されない、または正常に出ない	細かい霧にならない	ホースに穴や裂け目がある 本製品に適合でないノズルを使用している (吐出量の大きいノズル)	交換 交換
	薬液タンク内の薬液がかくはんされない	バイパスノズル板の詰まり	清掃か交換
	薬液が全く出ない	ゴミ・異物による薬液系統の完全な詰まり 薬液タンクに薬液がない 薬液ポンプの破損	清掃 補給 修理

- ・点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
- ・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

## 6 . 点検・整備

### 6 - 4 長期保管(30日以上)



製品を長期間(30日以上)にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 薬液タンクとホースを清水で清掃してください。薬液タンク内の洗浄水はタンクドレンキャップを外して排出してください。赤色のポンプドレングリップを引張り、薬液ポンプ内の洗浄水も排出してください。
2. 本書に定められた定期的な点検をしてください。製品のすべての部分を検査し、調節してください。スクリュー・ナット類が締まっているか確認し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。
  - A. 必要ならば掃除をし、修理をしてください。
  - B. サビ止めに、金属部分には薄く機械油を塗ってください。
3. 燃料タンクを完全にカラにしてください。プライマリポンプを使用し、キャブレタ内の燃料も排出してください。
4. ホースとノズルパイプを取外してください。
5. スパークプラグを外し、その取付穴から適量(10mL程度)の、新しくきれいな2サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
  - A. スパークプラグの取付穴の上にきれいな布を掛けてください。
  - B. スタータグリップを2、3回引いて、エンジンオイルをエンジンに行き渡らせてください。
6. スパークプラグを取付けてください。(スパークプラグキャップは接続しないでください。)
7. 製品が充分冷えて乾いてから、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください。



## 7 . 仕様

区分	項目	型式		<b>SHRE15B</b>	<b>SHRE10B</b>	<b>SHRE20B</b>	
		単位					
質量	(ホース類、 燃料除く)	kg		5 . 6	5 . 4	6 . 5	
容量	燃料タンク	L		0 . 4 8		0 . 6 8	
	薬液タンク	L		1 5	1 0	2 0	
寸法	(ホース類除く)						
	長さ	mm		3 1 0	3 1 0	3 1 0	
	幅	mm		3 7 5	3 7 5	4 1 5	
	高さ	mm		5 5 0	4 9 0	5 8 5	
エンジン	形式 排気量 最大エンジン回転数 (締切時) アイドリング回転数 クラッチ作動開始 エンジン回転数 キャブレタ形式 点火方式 スパークプラグ 始動方式 動力伝達方式	mL  r/min r/min  r/min		空冷2サイクル単シリンダ 2 1 . 2 7 , 0 0 0 2 , 9 0 0 ~ 3 , 3 0 0 3 , 3 0 0 ~ 3 , 9 0 0 循環式 フライホイールマグネット電子点火方式 NGK BPM7Y リコイルスタータ <b>イスタート 背引式</b> 自動遠心クラッチ			2 3 . 6 6 , 5 0 0 2 , 7 0 0 ~ 3 , 3 0 0
燃料	混合比			[レギュラーガソリン：2サイクルエンジンオイル] ・共立純正2サイクル専用オイル JASO性能分類 FC ;[50:1] ・2サイクルエンジンオイル JASO性能分類 FB、FA ;[25:1]			
薬液ポンプ	形式 散布量(標準ノズル) 圧力(締切) ノズル	L/min MPa(kgf/cm <sup>2</sup> )		過流式 1 . 2 0 . 8 ( 8 ) 広角一頭口 1 . 5 0 . 9 ( 9 ) 新スワース噴口 (二頭口)			
ホース	内径	mm		7 . 5			
	長さ	m		1 . 2			

\* この仕様は、予告なしに変更することがあります。

## 8 . その他

### 8 - 1 補用品と消耗品

部 品 名 称	部 品 番 号	備 考
エアフィルタ	1 3 0 3 1 0 - 1 3 4 1 0	<b>SHRE15B, SHRE10B</b>
エアフィルタ	A 2 2 6 - 0 0 0 0 2 0	<b>SHRE20B</b>
燃料フィルタ	1 3 1 2 0 5 - 1 9 8 3 0	
スパークプラグ	1 5 9 0 1 0 - 1 9 6 3 0	B P M 7 Y
ノズル(広角一頭口)	2 2 4 1 0 1 - 1 1 6 1 0	<b>SHRE15B, SHRE10B</b>
ノズル(新スワース噴口)	2 2 4 1 0 0 - 1 4 0 1 1	<b>SHRE20B</b>
ラウンドノズルチップ	2 2 4 1 0 0 - 1 1 3 1 0	
ノズルパイプ	2 2 4 1 0 2 - 1 1 6 1 1	<b>SHRE15B, SHRE10B</b>
ノズルパイプ	E 2 7 0 - 0 0 0 0 2 0	<b>SHRE20B</b>
ノズルコック	2 2 4 4 0 0 - 1 1 7 1 0	
ノズルグリップ	E 2 7 1 - 0 0 0 0 0 0	
ホース	3 8 4 0 0 2 - 1 2 7 1 0	
ソケットレンチ	8 9 5 4 1 0 - 0 3 9 3 0	<b>SHRE15B, SHRE10B</b>
ソケットレンチ	X 6 0 2 - 0 0 0 0 6 0	<b>SHRE20B</b>
防除マスク	8 9 8 5 4 4 - 0 1 1 1 1	
計量カップ	X 6 6 9 - 0 0 0 0 0 0	<b>SHRE20B</b> には標準装備です
ポリミックス	B 2 0 2 - 0 0 0 1 5 0 0	5 L
ポリミックス	B 2 0 2 - 0 0 0 0 2 0 0	2 L
5 0 : 1 2 サイクル専用オイル	B 1 0 5 - 0 1 0 1 0 0 3	1 L
5 0 : 1 2 サイクル専用オイル	B 1 0 5 - 0 1 0 0 4 0 3	4 0 0 m L

### 8 - 2 アクセサリ類(別売品)

部 品 名 称	部 品 番 号	備 考
伸縮自在ノズルMark	P 0 2 2 - 0 0 0 7 5 0	
水田除草剤フロアブルノズル	1 3 1 5 1 5	
プロトノズル(共立ミニ鉄砲ノズル)	P 0 2 2 - 0 0 0 7 6 0	
丸5頭口 SW	1 2 1 2 2 0 0	
スズラン長7頭口	1 2 1 3 0 0 0	
ラウンド25LB-3	1 1 0 6 5 0 0	
ラウンド25LB-5	1 1 0 6 7 0 0	
除草剤ノズルカバー付	1 2 3 7 5 0 0	

- ・ご購入の際は製品をお買い求めの販売店にご用命ください。
- ・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。
- ・製品の仕様・性能に合わせてお選びください。ご不明な点は製品をお買い求めの販売店にご相談ください。

# 索引

## あ行

i スタート背引式	2, 17
アイドルリング	16, 17
アクセサリ類	25
異常振動・異常音	7, 10
エアクリーナカバー	20
エアフィルタ	19, 20, 25

## か行

規定レベル	6, 15
キャブレタ	19, 22, 23, 24
警告表示	3
計量カップ	14, 25
高温部	10
広角一頭口	11, 18, 24, 25
高電圧部	10
故障診断表	22
混合燃料	15
梱包部品	11

## さ行

JASO 性能分類	15, 24
仕様	24
消耗品	25
除草剤噴霧	18, 19
シリンダフィン	19, 21
新スワース噴口	11, 18, 24, 25
シンボルマーク	3
スタータグリッパ	12, 16, 17, 19, 23
ストップスイッチ	12, 18
スパークプラグ	10, 19, 21, 23, 24, 25
スロットルダイヤル	12, 16, 17, 18
背負バンド	12, 13
ソケットレンチ	11, 21, 25

## た行

暖機運転	17
タンクドレンキャップ	12, 16, 23
長期保管	23
チョークレバー	16, 17, 18
低速調整ネジ	22
電極のすき間	21
点検・整備	5, 7, 19, 22

## な行

2サイクルエンジンオイル	15, 24
燃料	6, 15, 16, 24
燃料給油(補給)	6, 15
燃料系グロメット	6, 15, 20
燃料タンク	6, 10, 12, 15, 20, 23, 24
燃料タンクキャップ	6, 12, 15, 16, 20

燃料パイプ	6, 15, 20
燃料フィルタ	19, 20, 25
燃料補給ポンプ	15
燃料戻りパイプ	7, 16
農業用マスク	8
農薬	8
農薬取締法	8
ノズル	10, 11, 12, 13, 14, 18, 24, 25
ノズルグリッパ	10, 11, 12, 13, 25
ノズルコック	7, 11, 12, 13, 14, 16, 18, 25
ノズルチップ	18
ノズルパイプ	11, 12, 13, 25
ノズルホルダ	12, 18

## は行

排気ガス	7
排気出口	21
排出ガス自主規制適合証	1
バイパスノズル板	19, 22
爆発音	16, 17
発火テスト	10
プライマリポンプ	16, 23
プラグコード	10, 21
ブリーザ孔	21
ブリーザバルブ	21
噴霧作業	9, 18
防除マスク	11, 25
ホース	11, 12, 13, 23, 24, 25
保護衣・保護具	8
保証書	2, 11
補用品	25
ポリミックス	15, 25
ポンプドレン	12

## ま行

増し締め	19, 21, 23
マフラ	7, 10, 19, 21

## ま行

薬液	9, 14
薬液ストレーナ	10, 14
薬液タンク	7, 9, 12, 14, 16, 19, 21, 23, 24
薬液タンクキャップ	7, 9, 12, 14, 16
薬液タンクブリーザ	19, 21
薬液ポンプ	12, 16, 21, 23, 24
薬液ポンプ吐出ニップル	13

## ら行

ラウンドノズルチップ	11, 18, 25
ラベル	4
リコイルスタータ	10, 19, 24

# メ 毛



株式  
会社

**共立**

東京都青梅市末広町1-7-2 〒198-8711 ☎0428-32-6181

**北海道共立エコー株式会社**

札幌市厚別区大谷地東1-2-20 〒004-0041

☎011-891-2249(代)

**東北共立エコー株式会社**

仙台市若林区卸町東5-1-50 〒984-0002

☎022-288-0511(代)

**東部共立エコー株式会社**

青梅市末広町1-7-2 〒198-0025

☎0428-32-1091(代)

**中部共立エコー株式会社**

愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39 〒452-0031

☎052-502-4111(代)

**西部共立エコー株式会社**

岡山市藤田566-159 〒701-0221

☎086-296-5911(代)

**九州共立エコー株式会社**

大野城市白木原5-3-7 〒816-0943

☎092-573-5361(代)

**エコーレンテックス株式会社**

青梅市末広町1-7-2 〒198-0025

☎0428-32-6777(代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。

X750-005 20 3

X750604-600 4

0507Gn 0708 ES

© 2005 株式会社 共立 著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。